

“ぶよ”にご注意！！

夕方以降は長袖、長ズボンの着用を！



○“ぶよ”って？



イエバエの4分の1ほどの大きさ（約3～5mm）で透明な羽を持ち、体は黒っぽく丸まったような形をしているものが多い。

カヤアブと同じくメスだけが吸血するが、それらと違い吸血の際は皮膚を噛み切り吸血するので、多少の痛みを伴い、中心に赤い出血点や流血、水ぶくれが現れる。その際に唾液腺から毒素を注入するため、吸血直後はそれ程かゆみを感じなくても、翌日以降に（アレルギー等、体質に大きく関係するが）患部が通常の2～3倍ほどに赤く膨れ上がり激しい

痒みや疼痛、発熱の症状が1～2週間程現れる（ブユ刺咬症、ブユ刺症）。体質や咬まれた部位により腫れが1か月以上ひかないこともまあり、慢性痒疹の状態になってしまうと完治まで数年に及ぶことすらある。多く吸血されるなどした場合はリンパ管炎やリンパ節炎を併発したり呼吸困難などで重篤状態に陥ることもある。

予防に関しては、一般的な力用の虫除けスプレー等は効果が薄いので、ブユ専用のものを使うことが有効である（ハッカ油の水溶液でもよい）。また長袖や長ズボン、手甲や脚絆などを身につけ、素肌を露出させないことも重要である。吸血された場合は傷口から毒を抜いてステロイド系の薬（ステロイド外用薬）を塗る。また、掻くと腫れが一向に引かなくなり（結節性痒疹）、治ったあともシミとして残るので、決して傷口を触らないことである。

ATTENTION !

ぶよ対策として、夕方以降外に出る際は長袖、長ズボン、くるぶしより長い靴下の着用を子ども達に伝えています。ですので、必ず1～2着程度の長袖、長ズボン、くるぶしより長い靴下をお持ちください！！
(足首、手首まで裾があるものをご用意下さい)

